

## 平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月11日

上場会社名 北海道中央バス株式会社  
 コード番号 9085 URL <http://www.chuo-bus.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 札

(氏名) 平尾 一彌

(氏名) 今 雅基

TEL 0134-24-1111

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	16,551	16.3	259	21.4	317	13.0	83	—
21年3月期第2四半期	14,227	—	213	—	281	—	△80	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	3.14	—
21年3月期第2四半期	△2.93	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	34,547	24,768	71.3	928.48
21年3月期	32,676	24,819	75.6	930.47

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 24,637百万円 21年3月期 24,694百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	5.00	5.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,470	3.4	740	△34.6	820	△33.7	320	16.4	12.06

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	31,460,000株	21年3月期	31,460,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	4,924,343株	21年3月期	4,920,334株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	26,538,053株	21年3月期第2四半期	27,549,081株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成21年5月15日に公表いたしました通期の連結業績予想は、本資料において修正しております。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等について、及び上記1に係る業績予想の具体的修正内容は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で景気を持ち直しの兆しが見られるものの、失業率が過去最高水準となるなど雇用情勢は依然として厳しい状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループでは各事業にわたり、より一層の営業活動を展開するとともに、経営の効率化に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高16,551百万円（対前年同期比16.3%増）、営業利益259百万円（同21.4%増）、経常利益317百万円（同13.0%増）、四半期純利益83百万円となりました。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

## ① 旅客自動車運送事業

乗合バス部門では、都市間高速バスの利用促進を図るため、テレビコマーシャル等、積極的なPR活動を行いました。また、札幌市の敬老優待乗車証制度における事業者負担の一部軽減もありましたが、景気低迷による輸送需要の落ち込みが大きく、減収となりました。貸切バス部門についても、新型インフルエンザ流行の影響で学校行事やツアー等の受注が減少したことにより減収となりました。この結果、売上高は10,039百万円（対前年同期比5.6%減）、営業利益は194百万円（同49.3%減）となりました。

なお、貸切バス部門は、通常の営業形態として、夏期の貸切バス需要が多いため、第1四半期及び第2四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

## ② 建設業

建設業は、公共事業に一部持ち直しの動きが見られるものの依然として厳しい経営環境が続いているなか、営業活動を強化し受注確保に努めました。また、「工事契約に関する会計基準」を第1四半期連結会計期間から適用したこともあり、売上高は4,089百万円（対前年同期比264.1%増）となりましたが、54百万円の営業損失となりました。

## ③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、景気低迷を反映し契約内容の見直しや解約があり、売上高は1,362百万円（対前年同期比13.6%減）、営業利益は53百万円（同31.2%減）となりました。

## ④ 不動産事業

不動産事業は、賃貸物件の解約の影響がありましたが、宅地の販売、遊休不動産の新規賃貸契約等を行ったことにより、売上高は469百万円（対前年同期比7.3%増）、営業利益は114百万円（同11.7%増）となりました。

## ⑤ 観光事業

観光事業は、小樽天狗山スキー場では4月に実施したロープウェイの料金改定に加え、9月の大型連休におけるロープウェイ利用客の増加がありました。また、ホテルニセコいこいの村では宿泊プランのPRを強化したほか、夏休み期間にイベントを開催するなど、増収に努めました。しかしながら新型インフルエンザ流行や景気低迷の影響により、総じて厳しい状況となりました。

この結果、売上高は196百万円（対前年同期比7.4%減）となり、93百万円の営業損失となりました。

なお、当セグメントは、スキー場営業期間の関係で、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

## ⑥ その他の事業

旅行業では、新型インフルエンザ流行の影響による大口団体旅行の中止がありましたが、4月に開設した空知地区の営業拠点を中心に積極的な営業活動を展開しました。自動車教習所では、5月に普通車の教習料金改定を行ったほか、高齢者講習の回数を増やしました。この結果、売上高は1,628百万円（対前年同期比10.6%増）、営業利益は25百万円となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は34,547百万円で、前連結会計年度末と比べ1,871百万円（5.7%）の増加となりました。これは、現金及び預金が1,151百万円増加したこと、未成工事支出金が505百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は9,779百万円で、前連結会計年度末と比べ1,921百万円（24.5%）の増加となりました。これは支払手形及び買掛金が750百万円増加したこと、流動負債のその他に含まれている前受金が増加したこと等によるものであります。

純資産合計は24,768百万円で、前連結会計年度末と比べ50百万円(0.2%)の減少となりました。これは、利益剰余金が63百万円減少したこと等によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

最近の業績の動向等を踏まえ、平成21年5月15日に公表しました平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正いたしました。

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	36,060	760	830	440	16円58銭
今回修正予想(B)	35,470	740	820	320	12円06銭
増減額(B-A)	△590	△20	△10	△120	—
増減額(%)	△1.6%	△2.6%	△1.2%	△27.3%	—
(ご参考) 前期実績(平成21年3月期)	34,315	1,132	1,236	275	10円16銭

修正の理由

売上高は、主に自動車運送事業において減少することにより、従来予想を下回る見込みであります。

営業利益及び経常利益は、バス燃料費の減少などにより改善する要因はあるものの、売上高の減少により、従来予想を下回る見込みであります。

当期純利益は、固定資産除却損や減損損失など特別損失が増加することにより、従来予想を下回る見込みであります。

### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

完成工事高及び完成工事原価の計上基準の変更

請負工事に係る収益の計上基準については、従来、工期1年超の工事については工事進行基準を、その他の工事については工事完成基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、当第2四半期連結会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる工事については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事については工事完成基準を適用しております。

この変更により、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,195,150千円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ81,907千円増加しております。

(追加情報)

退職給付における数理計算上の差異の償却年数の変更

当社は、退職給付における数理計算上の差異の償却年数について、従来、平均残存勤務期間以内の一定の年数(15年)で償却しておりましたが、平均残存勤務期間が15年を下回ったため、第1四半期連結会計期間から償却年数を11年に変更しております。

この変更により、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は、それぞれ35,193千円減少しております。

## 5. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,571,466	5,420,058
受取手形及び売掛金	3,662,389	3,729,344
販売用不動産	49,047	82,768
原材料及び貯蔵品	127,321	131,902
未成工事支出金	562,056	56,453
その他	458,043	364,319
貸倒引当金	△3,843	△5,024
流動資産合計	11,426,480	9,779,821
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,351,501	18,444,208
減価償却累計額	△13,299,705	△13,212,210
建物及び構築物(純額)	5,051,795	5,231,998
車両運搬具	25,428,173	25,474,656
減価償却累計額	△21,876,094	△22,063,878
車両運搬具(純額)	3,552,078	3,410,778
土地	10,724,285	10,734,248
その他	4,233,134	4,159,164
減価償却累計額	△3,677,934	△3,657,870
その他(純額)	555,199	501,293
有形固定資産合計	19,883,359	19,878,317
無形固定資産	89,061	93,253
投資その他の資産		
投資有価証券	2,643,225	2,349,496
その他	715,506	721,716
貸倒引当金	△209,674	△146,041
投資その他の資産合計	3,149,056	2,925,171
固定資産合計	23,121,477	22,896,743
資産合計	34,547,958	32,676,564

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,502,493	1,752,106
未払法人税等	242,908	107,813
賞与引当金	273,864	198,091
その他の引当金	10,867	2,881
その他	3,448,449	2,420,978
流動負債合計	6,478,583	4,481,871
固定負債		
退職給付引当金	2,525,913	2,614,147
役員退職慰労引当金	258,326	252,609
その他	516,643	508,935
固定負債合計	3,300,883	3,375,691
負債合計	9,779,466	7,857,563
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
利益剰余金	22,764,726	22,828,063
自己株式	△1,117,707	△1,116,639
株主資本合計	24,498,120	24,562,525
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	139,654	131,916
評価・換算差額等合計	139,654	131,916
少数株主持分	130,717	124,559
純資産合計	24,768,491	24,819,001
負債純資産合計	34,547,958	32,676,564

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	14,227,882	16,551,411
売上原価	12,910,400	15,152,745
売上総利益	1,317,482	1,398,666
販売費及び一般管理費	1,103,560	1,139,007
営業利益	213,921	259,658
営業外収益		
受取配当金	30,878	20,016
持分法による投資利益	8,574	14,024
その他	31,062	25,682
営業外収益合計	70,514	59,723
営業外費用		
支払利息	958	1,243
自己株式取得費用	747	—
その他	1,208	157
営業外費用合計	2,914	1,401
経常利益	281,522	317,980
特別利益		
固定資産売却益	—	11,736
受取保険金	—	30,000
完成工事補償引当金戻入額	14,083	913
その他	2,355	9,176
特別利益合計	16,439	51,826
特別損失		
固定資産除売却損	62,662	47,271
減損損失	21,629	9,963
たな卸資産評価損	66,738	—
貸倒引当金繰入額	—	64,003
その他	4,569	19,365
特別損失合計	155,599	140,603
税金等調整前四半期純利益	142,361	229,203
法人税、住民税及び事業税	154,516	233,235
法人税等調整額	52,545	△93,624
法人税等合計	207,062	139,611
少数株主利益	15,942	6,157
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△80,643	83,434

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

	旅客自動車 運送事業 (千円)	建設業 (千円)	清掃業・ 警備業 (千円)	不動産事業 (千円)	観光事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び 営業損益									
売上高									
(1) 外部顧客に対す る売上高	10,585,529	1,050,081	1,077,834	271,748	206,635	1,036,052	14,227,882	—	14,227,882
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	47,798	73,068	499,294	166,069	5,563	436,716	1,228,511	(1,228,511)	—
計	10,633,328	1,123,149	1,577,128	437,818	212,198	1,472,769	15,456,393	(1,228,511)	14,227,882
営業利益又は 営業損失(△)	384,226	△267,339	77,663	102,918	△104,438	△2,967	190,062	23,859	213,921

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

	旅客自動車 運送事業 (千円)	建設業 (千円)	清掃業・ 警備業 (千円)	不動産事業 (千円)	観光事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高及び 営業損益									
売上高									
(1) 外部顧客に対す る売上高	9,993,603	4,061,923	949,945	306,763	190,250	1,048,926	16,551,411	—	16,551,411
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	45,903	27,752	412,467	163,227	6,291	579,467	1,235,110	(1,235,110)	—
計	10,039,506	4,089,675	1,362,413	469,991	196,541	1,628,393	17,786,522	(1,235,110)	16,551,411
営業利益又は 営業損失(△)	194,795	△54,870	53,413	114,936	△93,797	25,061	239,539	20,118	259,658

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。